＜様式２＞

令和３年度　さいたま市立桜山中学校　学校運営協議会による評価書

学校運営協議会による評価（協議会の委員の意見等）

本格実施から３年目を迎えた小・中一貫コミュニティ・スクール校として、学校運営協議会に取り組んでいるが、本年度は新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から、会議の時間を短縮して開催する等の対応を行った。そのため、実際に学校での様子を観る事ができない代わりに、小学校、中学校それぞれの普段の様子や学校行事等を動画や写真データで委員に届け、把握することができた。実際に参観する時に比べ、より多くの活動を確認することができたことについて良い評価を頂くことができた。特に、コロナウィルス対策を講じて行った、体育祭や合唱コンクールでの取り組みについて、生き生きとした生徒の様子があり、困難な状況であってもたくましく活動できていることに大きな安心と、未来への期待を持つことができた。

（１）自己評価書の結果を受けて

生徒による学校評価アンケートより

２０の質問項目の中で、たくさんの良好な評価がみられた。以下の項目が「肯定的な評価」(「そう思う」、「ややそう思う」の合計) 90%を超えた。

○桜山中は、教育目標や教育方針を学校だよりや日々の活動を通してわかりやすく伝えている。	９８
○学校には仲の良い友達がいる。	９４
○学校では、将来の進路や職業などについて考える機会がある。	９７
○係や委員会の仕事に積極的に取り組んでいる。	９３
○授業では熱心に学習に取り組んでいる。	９３
○桜山中は、学校・学年だより、保健室・相談室だより等で積極的に情報発信している。	９８
○学習の内容や進度・評価の観点をシラバス等で分かりやすく説明している。	９０
○礼儀や身だしなみなどに気をつけ、規律ある生活を送っている。	９７
○学校行事を楽しみにしている。	９２
○個人情報を適切に管理している。	９５
○生徒の悩みや相談に応じる体制ができている。	９４

その他、「思いやりのある心や生命を尊重する心を育てようとしている」という項目では、９４%、「わかりやすい授業にしようと努力している」でも９３%と大変高い評価である。ほとんどの生徒が学校に仲の良い友達がいると答えており、良好な人間関係を形成しながら学校生活を送っていることが分かる。

また、「あなたが中学校生活に望むこと」では①学力が向上すること。②わかりやすい授業が受けられること。③「いじめや差別がないこと」が上位となり、特に①と③については、学校運営協議会のテーマである「基礎学力の向上」と「豊かなかかわり」とリンクしており、引き続き来年度も重点ポイントとして目標を設定し、生徒に寄り添い、生徒とともに成長できる教職員として、多様な実践を積み重ね、授業内容の充実を図っていただきたい。

＜様式２＞

保護者による学校評価アンケートより

保護者によるアンケート結果も生徒の結果同様、たくさんの良好な評価であった。2 つの項目以外は、「肯定的な評価」(「そう思う」、「ややそう思う」の合計) 90%を超えた。

○桜山中生の礼儀や身だしなみはしっかりしている。	９６
○桜山中は、教育目標や教育方針を学校だよりや日々の活動を通してわかりやすく伝えている。	９４
○桜山中は、学校・学年だより、保健室・相談室だより等で積極的に情報発信している。	９４
○桜山中は、生徒の個人情報を適切に管理している。	９８
○お子さんは、委員会や係活動にしっかり取り組んでいる。	９４
○お子さんは、部活動に積極的に参加している。	８８
○桜山中は、保護者への連絡をきめ細かく行っている。	８２
○お子さんは、体育祭等、学校行事を楽しみにしている。	９３

また、「より良い桜山中学校にするために、保護者として特に強く望むこと」では、①学力向上、②わかりやすい授業への創意工夫、③先生と生徒の信頼関係。が上位である。

（2）ま　と　め

生徒によるアンケートでは２０の質問項目に対して、１６の項目で９０％以上の肯定的評価が得られている。保護者によるアンケートでは、１２の項目で９０％以上の肯定的評価を得ている。全体的には、生徒、保護者共に概ね学校生活について満足していることが伺える一方で、「家庭学習について」の評価は、昨年度よりも生徒の回答は８５％と昨年度とほぼ同じであるが、保護者の回答は７０％と昨年度ほぼ同じ割合であった。学校運営協議会でもテーマとしている「基礎学力の向上」により一層力を入れて取り組む必要性を感じる。基本的な生活習慣の確立を目指し、学校、保護者、地域が一体となって子どもたちを育んでいきたい。来年度も、コロナウィルス感染症対策を万全に行い、より多くの保護者に来校いただき、実際に本校の授業や教育活動をご覧いただくことを通して、保護者とともに桜山中学校をさらに発展させていただきたいと願うところである。

（2）工夫・改善の視点について

家庭学習についての評価は生徒、保護者、教員の全てにおいて評価は低く、より一層の改善、工夫が必要である。家庭学習（宿題）の出し方や、ノートの取り方の工夫など、家庭学習の習慣が身に付くよう、小中連携して取り組んでほしい。また、豊かなかかわりを高めるために、引き続き小中合同のあいさつ運動や、吹奏楽部の出前コンサートなど、小中の交流を推進し、継続していってほしい。

（3）その他

先生方は生徒一人ひとりに寄り添って指導を行っていると感じる。小さな学校の特徴を生かし、アットホームな雰囲気の中で、生徒たちと先生方が行事等で頑張っている様子が、多くの写真や掲示物等からうかがえる。それは、校長先生が学校の実態を把握し教職員の活動について的確な指導助言を行うことで先生方の共通理解が図られ、生徒たちが安心して生活を送れる学校を構築していることによると考える。

学校関係者評価を受けた学校の対応

本年度も小中一貫コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の関係者の方々から、教職員による自己評価が適切に行われており、それが教育活動の改善につながっていると判断していただいた。残念ながら本年度も、新型コロナウィルス感染拡大防止対策として、実際に参観していただくことができなかったが、写真や動画等を届け、より多くの活動を把握していただくことができた。本校生徒が規律ある落ち着いた学校生活を送っていること、また、アンケートの集計結果において、多くの生徒が「学校に仲の良い友達がいる」という評価をしている点等に高い評価をいただいたことは、今年度も、教職員一丸となって教育活動に取り組んできた成果の表れであると考える。来年度に向け、全教職員で学校教育目標の具現化を図り、昨年度に引き続き「夢と希望、自信と誇りをもてる桜中生」を育成していく。また、来年度も、キャリア教育についても研究を継続し、生徒一人ひとりの将来の夢や進路に向けた指導法や学級経営の改善・充実に役立てていく。また、課題である「家庭学習の充実」を図っていくために、家庭との連携や小中一貫教育の実践をさらに推進していきたい。

さいたま市立桜山中学校長